■創　立　／　昭和 29 年 6 月 3 日　■第 66 代　会長　／　藤田　浩二　幹事　／　吉野　貴美
■事務所　／　藤沢市藤沢 93 新堀ライブ館 204　TEL：0466-25-4000　FAX：0466-26-9292　E-mail：info@fujisawa-rotary.com
■例会日　／　毎週水曜日 12:30～13:30　■例会場／　湘南クリスタルホテル TEL：0466-28-2111

NO.10　第 3175 例会　２０１９年　９月　１８日　天候

ロータリーソング「それでこそロータリー」
四つのテスト　橋本　憲明　会員

≪ゲスト・ビジターの紹介≫

ゲストスピーカー：阿部　浩太郎　様
（2018-19 年度青少年交換学生/湘南学園 2 年）
ゲスト：阿部　妙子　様
（阿部浩太郎さんのお母様）
ビジター：服部　全弘　様　（鎌倉 RC）

≪会長報告≫

・藤沢市民祭りポリオキャンペーンの担当時間が 13:00～15:00 と決定したしました。ご参加下さい。
・先週に引き続き、北九州豪雨被害地への義援金をお願いしております。義援金箱を回させていただきます。
・米山記念館の運営賛助会員、100 円募金のご案内を各テーブルに配布しております。
・台風後、暑い日が続いております。皆様、お身体に気を付けてお過ごしください。

≪幹事報告≫

・米山奨学会への寄付のお願いを FAX、メールでお知らせしております。ご連絡がまだの方は、事務局へお知らせください。
・次週 25 日はガバナー公式訪問です。
理事役員、地区委員、クラブ委員長の皆様は、11 時よりガバナーとの懇談会がございますので、ご予定ください。例会後、会員皆様とガバナーの懇談会を開催いたしますのでご参加ください。
ガバナーへの質問等を募集しています。よろしくお願いいたします。

≪委員会報告≫

・椋梨　青少年奉仕委員長
国際奉仕の件ですが、カンボジアの雨天体育施設建設を計画しています。カンボジアには、体育、音楽、美術いう授業がありません。天候に左右されない施設を作り、運動を教えるというサポートをクラブとして行っていきたい考えています。
地区補助金の申請も準部中です。現地のロータリクラブと折衝にため、今月 25 日にカンボジアに

出席報告　（　　）内は計算に用いた会員数

例会月日	会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率	メークアップ会員数	修正出席者数	修正出席率
9月4日	45(44)名	33名	11名	75.00%	0名	33名	75.00%
9月18日	45(44)名	25名	19名	56.82%			

行ってまいります。皆様に寄付していただいているロータリー財団資金を有効に使うために、しっかり申請する準備をしております。後日、進捗状況をお知らせいたします。

≪お祝い≫

２０１８-１９年度　皆出席のお祝い

小島　正幹	会員	５０年
木島　英夫	会員	４６年
和田　庄治	会員	１６年
椋梨　兼彰	会員	６年
大野木　加代子	会員	４年
川上　彰久	会員	３年
大小原　徹	会員	１年
野口　捷代	会員	１年
廣島　純	会員	１年

小島名誉会員より代表してご挨拶いただきました。
皆出席するための秘訣をお話いただきました。
40 年以上前に、働き方改革をしていらっしゃいました。

≪スマイル報告≫

服部　全弘　様（鎌倉 RC）
　台風一過　皆様の処　如何でしたか。
　本堂の畳　20 枚ほど立てかける程　吹き込みが厳しかったです。

藤田　浩二　会長
　阿部くん　お母様、1 年間お疲れ様でした。
　卓話、楽しみにしています。

小島　正幹　名誉会員
　在籍中の皆出席表彰されまして。

木島　英夫　会員
　皆出席の表彰を受けましたので。

椋梨　兼彰　会員
　阿部君とお母様、本日はようこそ。
　阿部君、1 年間の思い全てを 30 分でぶつけて下さい。
　皆出席祝い　ありがとうございます。300%位出てる感じです。

大野木　加代子　会員
　皆出席　ありがとうございました。

≪小話　3 分間スピーチ≫

吉藤　清誉　会員

仕事柄、部下の結婚式に呼ばれることが多く、月に 3 回という時もあります。そこでスピーチするのですが、そこで話す結婚にあたってのアドバイスについてお話します。
新郎の部下に話すことなのですが、「覚悟と謙虚」についてです。覚悟といいますのは、結婚して子どもに恵まれ、特に娘が生まれ、高校生大学生になりますと、父親は、嫌がられます。その覚悟をしておくよう言い

ます。もう一つ、謙虚についてです。家内に「会社では支店長さんだけれど、一歩外に出れば、一人の中年男性」と言われました。とにかく謙虚であることを思い知りました。

≪卓話≫

『2018-19 年度青少年交換学生　帰国報告』

201819 年度青少年交換学生

湘南学園高校 2 年　阿部　浩太郎　様

（紹介者：川上　会員）

・ブラジル　ベロオリゾンテの街について

ブラジルで 3 番目に大きな街ポルトガル語で「美しい朝日」という意味。街の規模は藤沢の 4.5 倍、人口は 5 倍。周りが山に囲まれた盆地、観光地ではなく、公園がり、整備された街という印象という印象ですが、盆地の外側にはスラム街もあります。

山が境界線となっているので、治安がよいことで有名。

・ブラジルでの生活

ブラジルのホストファミリーの家。初めてのペットは、秋田犬でした。

通っていたのは、一般的な学校で、朝 7 時に始まり、12 時半に終わります。フットサルコートやバスケットコートもありますが、体育の授業はありません。家庭科や美術のような実技科目もなく、年に一度、お祭りがあります。

ホストファミリーは朝食と夕食をほとんどとりません。昼食（写真の真ん中）をしっかり食べるという生活。

主食はタイ米のようなご飯とお味噌汁のような豆のスープ。ブラジルはお肉が有名で、味付けは塩コショウ程度ですが、とてもおいしいです。ポテトチップスをおやつではなく、食事として食べます。写真の左は、ポン・デ・ケジョというパンです。ホストファミリーのおばちゃんが作るこのパンが、ブラジル料理で一番好きでした。チーズを塗り込んだ生地を焼いたもので、作るのが大変です。冷凍のチーズを 2 時間擦って、1 時間捏ねるのを手伝っていました。右の写真は、ココナッツウォーターです。ブラジルのものは、安く量も多くておいしいです。

ブラジルではフットバレーが盛んです。学校のチームに所属していました。コーチは、元サッカーブラジル代表の方です。サッカーを教えてもらいたかったです。

・アマゾンでの経験

アマゾンのトリップは、世界一素晴らしいトリップといわれます。船で移動し、宿泊します。寝るのはハンモックです。電波がないので携帯電話を使えません。なので仲間の距離が近く、皆より仲良くなりました。空いている時間はおしゃべりをしたり、ゲームをしたり、積極的な交流が増えました。またトリップには、現地のインディアンの方がガイドでついてくれます。子どもの頃は森で家族と暮らし、ロータリーの交換留学生となって、海外の生活を経験した後、スタッフとしてアマゾンでガイドをして下さっています。経験と知識が豊富です。

アマゾンの水の色が違うのは、水の性質の違いのためです。黒い方はアルカリ性で、薄い方は、普通の川の水です。支流が合わさっても水の性質が違うので混ざり合いません。アマゾンというと虫や蚊が多いように思われるかもしれませんが、アルカリ性の水に蚊は繁殖しないので、黒い水が多い地域では蚊があまりいません。このようなことも現地のガイドさんに教わりました。

時々スコールがあって、雨の切れ間がはっきりわかります。

ガイドさんは、口で懐中電灯をくわえて野生のワニを捕まえ、触らせてくれたり、ジャングルで捕まえたナマケモノを抱っこさせてくれたりします。カワイルカや蛇も野生のものを捕まえて、触らせてくれました。

現地の伝統的な踊りを見せてもらったり、捕まえたピラニアを焼いて食べたりしました。写真の白い粉は、タピオカです。ブラジルでは粉末で、クレープの生地のようにプレートで焼いて具をのせて食べます。

・コミュニケーションと繋がり

一般的に留学するとコミュニケーション力が上がると言われますが、実際に行ってみて、技術や言語力は高めるというより慣れるといった方がよいのではないかと思います。外国人とコミュニケーションとるのも、日本人同士でコミュニケーションとるのも、本質は変わらないと思います。しかし、私たち日本の若い者が外国人とコミュニケーションをとるのがなぜ苦手なのかわかりませんでした。

ブラジルから帰ってきて感じたのは、外国人と話すのに慣れていない、外国語がうまく話せないから身構えてしまう所があるというところはありますが、それ以前に、外国の方に興味を見っているか、話をする意思があるかというとそこまで思う人は少ないと思いました。相手について興味を示すということは、話してみて増えていったのではないかと思います。日本にいて外国の方と関わる事と外国でその国の人と関わるのでは違いがあります。日本にいる場合は、受け入れる側になりますが、海外では入っていく側になるので、より身近にその国の会話のテンポや生のリズムを感じられることが解りました。

この写真は留学先の友達や地区の方々です。こういった繋がりは、現地に行かないと作れないものです。中でも台湾人の友達とは、最初のミーティングで仲良くなりました。他の友達とも帰ってきてからも連絡を取り合っています。日本の友達よりも深くわかりあえている人もいます。外国人とコミュニケーションをとって、外国の文化や考え方学んだりすることも大切ですが、まず第一に、彼らと繋がりを持てたことが自体が大きいと思っています。繋がりを持った上で次のステップに進む事ができ、、外国の方と話していく中で、コミュニケーションの方法や、考え方、話し方の好みなどを学ぶ事が出来ました。ドイツ人の友達のことを話します。彼は一番多く一緒にいて、毎週遊びに行ったりしていました。彼は

日本のアニメが好きで、私のいた地区には日本人が、私一人でしたので、よく話しかけてくれました。彼と会話していて感じたことがあります。私に興味を持って話しかけてくれました。他の人もそうですが、特に彼は私に興味を持って話かけてくれたのを感じました。英語でのコミュニケーションができる、できない以前の問題として、自分に興味を持ってくれているということが解りました。私自身が外国の方と話すときは、受け身になりがちで、興味を持っていても示せなかったり、英語で話すこと自体に注意が向いてしまって、相手のことを考えられなかったりしましたが、彼と話しいて、外国人でも日本人でも話す相手に興味を持つとが一番大切で、その上に言葉があり、会話があるという事を感じました。それを感じたエピソードがもう一つあります。留学生みんなで、ショッピングモールに言った時、何が食べたいか聞かれたとき、「なんでもいいよ」と答えました。日本人の多くが「まかせるよ」という意味でそう答えるでしょう。ところが、「まかせるというのではなく、あなたが何を食べたいか聞いているのだ」と言われ、驚きました。本当に私が何を食べたいか、どのようなものが好きで、興味があるのか、気になって聞いてくれたのだとわかりました。この二つの経験から、今後どうしていきたいかお話します。まず、この繋がりを絶対に失わない事です。今後も連絡を取り合って、繋がっていたいと思います。コミュニケーションの取り方を学んだ経験から、学んだから終わりではなく、今後も続けていかなくてはならないし、今回は卓話という形でしたが、自分で機会を作り、私の経験と感じたことをより多くの方に伝えて行かなければと考えています。学校や友達、SNS など、より多くの方に学んだことを発信していきたいと思っています。

「ロータリーの青少年交換留学で世界に行けば、世界から戦争がなくなる」と言われています。本当のその通りだと思います。全ての人がこのような経験を感じ、外国の方々と触れ合えるコミュニケーションと取り、繋がっていかれたならば、争いはなくなるのではないかと思いました。これが 1 年間の留学の感想です。

R 青少年交換学生の証！
バッジの数だけ世界中のお供代がいらっしゃいます!!

鎌倉 RC　服部全弘　様　台風被害大変でした

本日のお料理